

# 令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人山村塾

## 1. 事業の成果

- ・コロナ禍2年目として徐々に活動を再開したものの会員数は2年続けて減少し、参加者数は2020年度からは増加したが、コロナ前の2019年度からは減少したままとなった。また、農産物販売も目標を下回るなどして収入が大きく減少した。加えて中期計画策定へのスタッフ配置、合宿ボランティアの規模縮小やイベント前後の感染対策等によって人件費やその他経費を抑えることができなかつたため大きな赤字決算となった。
- ・ワーキンググループが中心となり中期計画（2022～2025年度）を策定した。毎年度の計画の元となることが期待される。
- ・感染拡大防止のため活動コースは少人数での活動となったが、少人数での実施により、農家と会員の密接なコミュニケーションは取りやすかつた。
- ・2021年度PST寄附カウント113名。活動参加者が少ない状況でどのように寄付につながる関係者を増やすかが課題。クレジットカード決済は部分的に可能となったが、利活用には整理が必要。
- ・活動コース事業は、受入農家が相互に受付作業をサポートする形を試行し、スムーズな運営を行うことができた。加えて、農家との交流や農産物の購入が促進された。
- ・食事の際などで感染対策（マスク着用、配膳係の設置）の徹底ができていないことがあつた。だれもが安心して参加できるよう改善が必要。

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(円)
環境保全ボランティア事業	行事・里山ミニワーク・子どもキャンプ事業	年31日	八女市	延べ200名	参加者延べ531名	3,454,284
農山村又は中山間地域の振興を図るための人材育成及び交流事業	障がいをもつた人にもできる森づくり活動事業	通年 (月2回) 計10回	八女市	6名	活動参加者延べ81名	129,818
	福岡県森林づくり活動安全講習会の実施	5月～1月 全11回	福岡市 飯塚市 久留米市 八女市	6名	受講者延べ159名	2,200,828
	自伐林家育成研修の実施	8月～3月 全15回 (修了者向け2回含む)	久留米市 広川町 八女市	7名	受講者19名 (修了者9名含む)	4,889,025

	奥八女芸農プロジェクト ①半農半アート研究会・フォーラム（九州大学SAL連携事業） ②八女茶山おどりプロジェクト ③奥八女芸農ワークキャンプ	8～2月	八女市	7名	活動参加者 延べ155名 ①99名+②55名+③1名	667,717
	研修受入れ事業	通年	八女市	3名	視察0回、体験等12回162名、講演等2回 計30名	729,528
	薪ボイラー販売事業	通年	八女市	1名	導入なし	12,740
農山村又は中山間地域の振興を図るための農産物の生産及び販売事業	自社生産販売事業 ・ラッキョウ ・棚田米生産	通年	八女市	5名	笠原地区住民 一般市民多数	1,620,909
	笠原の農産物販売事業 ・笠原棚田米プロジェクト ・オンラインショップ	通年	全国	5名	笠原棚田米サポーター84名 棚田米農家8軒	6,632,053
	農地保全事業 ・笠原棚田牧場 ・棚田の草刈り	通年	八女市	5名	一般市民多数	979,924
国内及び海外の団体との連携による環境保全活動	合宿ボランティア事業	5～3月	八女市	7名	合宿型2名、日帰り・週末90名 活動日数135日、延べ202人日	2,238,035
	農林地管理受託事業 ※笠原復興プロジェクトをここに加える	通年	宮若市 八女市	3名	活動日数6日、延べ23人日	301,795
	パッチワークの森づくり事業 ・パッチワークの森整備 ・薪づくりコース	1回	八女市	3名	活動日数1日、延べ13名	69,222
	他団体との連携事業	通年	八女市	4名	14団体に参加、一般市民多数	837,541
	他団体の事務受託事業	通年	八女市	2名	笠原東地区構成員 矢部川流域住民	495,283
	「山村たんけんキャンプ」の実施	※行事・里山ミニワーク・子どもキャンプ事業を含む（2021年度は実施なし）				

子どもの健全育成を図る事業	こもれびの家学童保育受入れ	※研修受入れ事業に含む。				
まちづくりの推進を図る事業	※実施なし	—	—	—	—	
災害時の被災者の救援や生活支援及び復興事業	※実施無し	—	—	—	—	
全体	職員寮「えんがわ」	通年	八女市	2名	職員2名	821,073